

議事録

-令和7年度 第1回 事業者分科会-

日時：令和7年7月30日（水）

13：30～14：30

場所：富士見町役場 202会議室

1. これまでの経過

(1) 富士見町地球温暖化対策実行（区域施策編）

事業者分科会フラグシッププロジェクト設定 ※別紙資料

(2) 「脱炭素ビジネス学習会」開催

2. 本日の議題

(1) 令和7年度事業者向け学習会の開催

(2) 今後の方向性について

3. その他



経過

令和6年度事業者分科会

○「富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定

→事業者分科会フラグシッププロジェクト

「脱炭素経営学びの場の構築の実証プロジェクト」

○第1回「脱炭素ビジネス学習会」 令和7年2月12日（水）18時～

第一部：脱炭素経営に向けた省エネのメリットと進め方

第二部：町内事業者による事例紹介 パネルディスカッション

学習会終了後：茶話懇親会

参加：6事業者

アンケート

Q学習会を開催した場合に聞きたいこと

- ・各エネルギーをCO₂に換算する計算方法
- ・省エネ（経費削減）の具体的事例と成果



議事録

(1) 令和7年度事業者向け学習会について

- ・昨年度の第1回目の学習会は内容が良かったが参加者が少なかった。省エネ設備を導入している事業所の見学など実践的な学びの場が求められているのでは。
- ・町長、商工会長、産業振興センター長とレベルを合わせる必要がある。
- ・経営者向けの講習会をしっかりとやらないと前に進まない。
- ・諏訪地域で脱炭素に積極的にかかわっている企業（野村ユニソン、高島産業）に、取り組みを紹介してもらうのがいいと思う。その次の段階では企業で実践している方に実践的なやり方を教える。
- ・どこかの会社でみんなが見ている前で省エネ診断をしてもらい、対策をアドバイスしてもらってる様子を見てもらうと良い。
- ・勉強会しても次に繋がらないと意味ないので、アドバイスが欲しいときにもらえるような中間支援の仕組みが必要。

例えば産業振興センターのなかに省エネアドバイザーを置くなど。

- ・2か月に1回のペースで担当者会議のような学習会を開催し、講習と実践をすることで、省エネGメンのような人たちを育てたい。講習聞いただけでは実践難しい。
- （遠峰さん：場所や機材を用意してもらえれば講習は無償でも良い）

議事録

(1) 令和7年度事業者向け学習会について

- ・ 年に2社くらいの省エネ診断補助金の予算を取った方が良い。1万5千円/件
- ・ 省エネ診断は1回やると3年は受けられない。
- ・ 講習会の様子を映像化してアーカイブに残して町HPで見られるようできないか。
- ・ 年末くらいに補助金の申請についての講習会があると良い。
- ・ 補助があるという話を先行しつつ、省エネについて勉強していくのが良い。



議事録

(1) 令和7年度事業者向け学習会 まとめ

【内容】

- ①商工会工業部会のなかで講習会を開催し、諏訪地域で脱炭素に積極的に取り組んでいる企業から取り組みを学ぶ
- ②ニシムラさんの事業所で省エネのアドバイスをしてもらっている様子を見学する実践的な学び

【講師】

- ①候補：高島産業 ②遠峰さん・西村さん

【対象】

商工会工業部会

【開催時期】

- ①8月～9月

工業部会へは西村さんから、高島産業は中島さんから連絡可能

- ②10月～11月

必要に応じて適宜分科会開催する



議事録

(2) 今後の方向性

○本年度の全体スケジュール

本日 第1回 事業者分科会

8～9月 事業者向け学習会①

地球温暖化対策推進委員会

10月頃 事業者向け学習会②

第2回事業者分分科会

2～3月頃 地球温暖化対策推進委員会



議事録

その他

○事業活動温暖化対策計画書制度

任意提出事業者向け温暖化対策ガイドブック

→省エネ対策など分かりやすく紹介されているので参考に。5月に商工会事務局に情報展開を依頼。

○8/28住民分科会主催の断熱講演会を開催、8/2こどもの未来をかんがえる会主催の床断熱ワークショップが開催。

